

令和7年度 大田区立新宿小学校 授業改善推進プラン全体計画

東京都教育ビジョン（第5次）

- 自ら未来を切り拓く力の育成
- 誰一人取り残さないきめ細かな教育の充実
- 子供たちの学びを支える教職員・学校の力の強化

大田区の教育がめざす子ども像

- 意欲をもって自ら学び、考え、主体的に行動することも
- 多様性を尊重し、自分や人を大切に生きていくことも
- 地域とつながり、社会の一員として貢献しようとする子ども
- 自らの可能性を伸ばし、ともに未来を創り出す子ども

保護者・地域の期待や願い

- 基礎学力の定着
- 個に応じた指導の充実
- コミュニケーション力の育成
- 体力・健康の増進
- 望ましい生活習慣の育成 など

学校教育目標：○元気な子 ◎考える子 ○思いやる子

めざす学校像

- 「共に生きる」 → 他者と協働することや助け合うことの大切さを学ぶ。
 「自立する」 → 自分を知り、大切にすること。自分で学びの計画を立て、責任をもつ。
 「社会に目を向ける」 → 社会の一員として、地域を大切にし、すすんで地域と関わる。

各教科の指導の重点

- 基礎的、基本的な学力の定着
- 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養
- 生きて働く「知識・技能」の習得
- 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成

道徳教育の指導の重点

- 誰に対しても思いやりの心を持ち、協力し助け合う心の育成
- 生命・人権を尊重し、健康で安全な生活を送ろうとする態度の育成
- 自ら考え判断し、最後までやり抜くことのできる心の育成
- 公德心を持ち、節度ある生活をしようとする態度の育成

特別活動の指導の重点

- クラブ活動や委員会活動での自発的・自治的な活動の展開
- 学級活動によるよりよい生活や集団への態度の育成
- ふれあい班活動（異年齢交流）によるよりよい人間関係の形成
- 新宿会議による児童の自治的活動ができる場の設定

総合的な学習の時間の指導の重点

- 自然体験やボランティア活動等の社会体験の重視
- 学習過程の工夫
- 家庭・地域・関連機関との連携
- SDGs と関連した学習の工夫

健康教育の重点

- 健康の増進、体力向上プラン（芝生を生かした教育活動）
- 運動量の増加を目指した時程の確保と、運動に親しむ場の設定
- 保健・体育・食育の充実
- 早寝・早起き・朝ご飯の定着

教育目標を達成するための取り組み

- ① 予測困難な未来社会を創造的に生きる力の育成
- ② 世界とつながる国際都市おおたを担う人材の育成
- ③ 一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力の育成
- ④ 学校力・教師力の向上
- ⑤ 自分らしくいきいきと生きるための学びの支援
- ⑥ 柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境づくり
- ⑦ 学校・家庭・地域の連携・協働による地域コミュニティとしての学校づくり

生活指導の重点

- 基本的な生活習慣の形成や健康・安全についての望ましい態度の育成
- カウンセリングマインドに支えられた教育活動（いじめに関するアンケート、Web-QU、ふれあい月間実施、スクールカウンセラーとの連携）
- いじめを絶対に許さない校風づくりの醸成
- 中学校や地域と連携した健全育成
- 特別支援教育の積極的な推進
- 自殺予防に関する指導

進路指導の重点

- 蒲田中学校等との連携の推進
- キャリア教育の推進、課題選択や自己の生き方を考える機会の充実
- キャリアパスポートの積極的な活用

情報活用能力育成の重点

- 発達段階に応じた基本的な技能操作の定着
- ICT 支援員との連携
- 学校生活全般における ICT の積極的な活用（Googl Classroom や まなびポケット等）
- 日常の指導や講習会などを通じた、デジタル・シティズンシップの育成

外国語活動の指導の重点

- コミュニケーション力の育成
- ALT との連携
- 英語カフェの活用による ALT との交流

授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫

- 少人数・習熟度別指導やAIドリル、補習教室の実施等の個別最適な学び
- 異学年間、異校種間（保育園・中学校）の交流活動の推進
- 教材教具、施設、ICT機器の効果的な活用
- 高学年の教科担任制の実施及び学年における交換授業の実施

教育課程編成上の工夫

- 年間行事の精選と改善、職員会議の精製による授業時数の確保
- 体験的・問題解決的な学習の重視
- 漢字チャレンジ週間、算数ステップアップ週間、読書週間の実施
- クラブ活動1単位60分確保（年間15回）
- 体力向上をねらった業間運動及び特久走大会の実施

校内における研究・研修

- 「自ら学びを調整しながら資質・能力を育む児童の育成～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して～」を主題とした研究授業（年6回）の実践
- 特別支援教育の推進や生活指導の充実、ICT機器の活用、個別最適な学び・協働的な学び等に向けた校内研修の実施
- 「見てね授業」の実施によるOJTの推進

評価活動の工夫

- 評価委員会による評価規準や評価の方法、評価資料の作成、検討、改善
- 通知表の改善と保護者への評価資料の提供
- 授業改善推進プランの見直し、具体的な取り組みの検討と実施
- 個々の指導方法の改善と、学習カウンセリングの実施、および保護者との連携
- 子どもまんなか三者面談を通じた児童への学習評価

家庭や地域との連携

- 学校運営協議会の実施
- 学校評価に基づく教育活動の見直し、改善
- おおたっ子ひろば、民生児童委員、保護司等との連携
- 学校支援地域本部との連携
- 新宿スクールサポートの拡大と積極的な活用
- 開かれた学校づくり（学校公開、保護者会など）
- 三者面談の実施（年2回）
- 学校HPの定期的な更新
- 町会や保育園との連携